

別記様式第八（甲）

| | |
|-------------------------|--|
| 許 可 申 請 書 | |
| 年 月 日 | |
| 殿 | |
| 申請者 住 所 | |
| ふりがな 氏 名 | |
| 別紙のとおり河川法 第 条の許可を申請します。 | |
| 河川法施行令第 条 | |

備考

- 1 申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 第39条の規定により許可の申請を同時に行うときは、「第 条」の箇所に根拠条文をすべて記載すること。

（乙の1）

| | | | | |
|-------------------|-------------------|----------------|------|----|
| （水利使用） | | | | |
| 1 河川の名称 | | | | |
| 2 水利使用の目的 | | | | |
| 3 取水口、注水口又は放水口の位置 | | | | |
| 4 取水量等 | | | | |
| 5 取水の方法 | | | | |
| 6 工作物及び土地の占用 | | | | |
| 名称又は種類 | 工作物の位置 又は占用の場所 | 工作物の構造 又は能力 | 占用面積 | 摘要 |
| | | | | |
| 7 土地の掘さく等 | | | | |
| 種 類 | 場 所 | 土地の面積 | 摘 要 | |
| | | | | |
| 8 水利使用の期間 | | | | |
| 9 工期 | | | | |

備考

- 1 「水利使用の目的」については、水利使用に係る事業のための施設の総体又は代表的な施設の名称を付記すること。
- 2 「取水量等」の記載については、次のとおりとすること。
 - (1) 取水量及び使用水量の単位は、立方メートル毎秒（一日最大取水量、一日最大使用水量、年間総取水量及び一日平均取水量にあつては、立方メートル）とすること。

- (2) 発電のためにする水利使用にあつては、最大取水量及び常時取水量のほか、総落差及び有効落差並びに最大理論水力及び常時理論水力を記載し、かつ、最大出力、常時出力及び常時尖頭出力を付記すること。
 - (3) かんがいのためにする水利使用にあつては、しろかき期その他の期間別の最大取水量（最大取水量に 86,400 秒を乗じて得た量と一日最大取水量とが異なるときは、最大取水量及び一日最大取水量）を記載し、かつ、かんがい面積を付記すること。
 - (4) その他の水利使用にあつては、最大取水量及び一日最大取水量（一定の期間ごとに最大取水量又は一日最大取水量が異なるときは、その期間別の最大取水量および一日最大取水量）を記載し、かつ、水道のためにする水利使用にあつては、給水人口を付記すること。
 - (5) 取水量と使用水量とが異なるときは、使用水量をあわせて記載すること。
 - (6) 年間総取水量又は一日平均取水量を定めて水利使用を行うときは、これを記載すること。
 - (7) ダムによる流水の貯留を利用して取水するときは、その旨並びに当該ダムの名称、一及び設置者の氏名（法人にあつては、その名称）を記載すること。
 - (8) その他責任法流等の水利使用の条件があるときは、これを記載すること。
- 3 「工作物及び土地の占用」の記載については、次のとおりとすること。
- (1) 「占用面積」の欄には、河川区域内の土地（河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する土地を除く。）の占用面積を記載すること。
 - (2) 「摘要」の欄には、新築、改築又は除却の別その他参考となるべき事項を記載すること。
- 4 「土地の掘さく等」の記載については、次のとおりとすること。
- (1) 河川区域内の土地における土捨場の設置、土地の掘さくその他の形状を変更する行為（工作物の新築、改築又は除却のためにするものを除く。）及び竹木の栽植又は伐採について記載すること。
 - (2) 「摘要」の欄には、捨土量、掘さく土量等を記載すること。
- 5 許可を受けた事項の変更の許可の申請にあつては、変更しない事項についても記載し、かつ、変更する事項については、変更前のものを赤色で併記すること。

添付図書

- 一、次に掲げる事項を記載した図書
 - イ、水利使用に係る事業の計画の概要
 - ロ、使用水量の算出の根拠
 - ハ、河川の流量と申請に係る取水量及び関係河川使用者の取水量との関係を明らかにする計算
- 二、水利使用による影響で次に掲げる事項に関するもの及びその対策の概要
 - (イ) 治水
 - (ロ) 関係河川使用者（法第 28 条の規定による許可を受けた者並びに漁業権者及び入漁権者を除く。）の河川の使用
 - (ハ) 竹木の流送又は舟若しくはいかだの通航
 - (ニ) 漁業
 - (ホ) 史跡、名勝及び天然記念物
- ホ、法第 44 条第 1 項のダムを設置するときは、貯水池となるべき土地の現況及び当該ダムによる流水の貯留により損失を受ける者に対する措置の概要
- ヘ、工作物の新築、改築又は除却を伴う水利使用の許可の申請にあっては、工事計画に係る次の表に掲げる図書（法第 26 条第 1 項の許可の申請が含まれていないときは、工事計画の概要を記載した図書）

| 区 分 | 図 書 | 備 考 | |
|--------------------------------|--------------------|------------------|----------------------------|
| 法第 44 条第 1 項のダムの新築又は改築に関する工事計画 | 別記様式第 9 による工事計画一覧表 | | |
| | 計算書 | 計画洪水流量に関する計画書 | |
| | | ダムの安定に関する計画書 | |
| | | 施設又は工作物に関する水理計算書 | |
| | | 施設又は工作物に関する構造計算書 | |
| | | 背水に関する計算書 | |
| | | 貯水池容量計算書 | |
| | | 占用面積計算書 | |
| | 付 表 | 降 水 量 表 | 日降水量、月降水量及び年降水量を記載するものとする。 |
| | | 最高最低気温表 | 月の最高気温及び最低気温を記載するものとする。 |

| | | | |
|----------|-----|--|--|
| | | 水位及び流量表 | |
| | | 掘さく土石処理 計 画 表 | |
| | | 工 程 表 | |
| | 図 面 | 一 般 平 面 図 | <p>次の事項を記載した縮尺5万分の1の地形図とする。</p> <p>イ、集水地域</p> <p>ロ、ダム、水路、法第45条の規定による観測施設その他水利使用に関する主要な施設又は工作物の設置</p> <p>ハ、水利使用により影響を受ける施設又は工作物のうち、他の水利使用のためのもの、道路、橋その他主要なものの位置</p> <p>ニ、その他参考となるべき事項</p> |
| 貯水池実測平面図 | | <p>次の事項を記載した縮尺5千分の1以上の地形図とする。</p> <p>イ、湛水区域</p> <p>ロ、ダム及びこれに附属する施設又は工作物の位置</p> <p>ハ、土捨場その他ダムに関する工事に附帯して設置する施設又は工作物で主要なものの位置</p> <p>ニ、測点の番号及び位置</p> <p>ホ、その他参考となるべき事項</p> | |

| | | | |
|--|--|--------------------------|---|
| | | 貯水池実測縦断面図 | 次の事項を記載した縮尺縦2百分の1以上、横5千分の1以上のものとする。 イ、最低河床 ロ、ダムの位置 ハ、ダムの新築又は改築前における計画洪水水位並びに新築又は改築後における計画洪水水位、常時満水位及び最低の水位 ニ、推定堆砂図 ホ、測点の番号及び標高 ヘ、測点間の距離及び追加距離 ト、その他参考となるべき事項 |
| | | 貯水地実測横断面図 | 次の事項を記載した縮尺5百分の1以上のものとする。 イ、最高の水位から20メートルの高さまでの地盤面 ロ、前欄ハからホまでに掲げる事項 ハ、その他参考となるべき事項 |
| | | 地質に関する図面 | |
| | | ダムの設計図 | ダムの基礎処理に関するものを含む。 |
| | | ダムに関する工事を施行するための設備に関する図面 | |
| | | ダム以外の施設又は工作物の設計図 | |
| | | 流況曲線図 | |
| | | 流量累加曲線図 | |
| | | 貯水量曲線図 | |
| | | 貯水面積曲線図 | |
| 占用する土地の丈量図 | | | |
| ダムの新築又は改築の場所をその上流側及び下流側から撮影した写真にダムの外形を記載したもの | | | |

| | | | |
|---|--------------------------------|-----------------------|-----------------------------------|
| | 工事費概算書 | | |
| | 資金計画の概要を記載した書 面 | | |
| | その他工事計画に関し参考と なるべき事項を記載した図書 | | |
| 法第 44 条第 1 項のダム以外の 工作物の新築又 は改築に関する 工事計画 | 計算書 | 工作物に関する水理 計算書 | |
| | | 工作物に関する構造 計算書 | |
| | | 計画洪水流量及び背 水に関する計算書 | ダム又は堰以外の工作物については、作 成することを要しない。 |
| | | 占用面積計算書 | |
| | 付 表 | 水位及び流量表 | |
| | | 工程表 | |
| | 図 面 | 位置図 | 縮尺 5 万分の 1 の地形図とする。 |
| | | 実測平面図 | |
| | | 実測縦断面図 | ダム又は堰以外の工作物については、作 成することを要しない。 |
| | | 実測横断面図 | |
| | | 工作物の設計図 | |
| | 占用する土地の丈量 図 | | |
| | 工事費概算書 | | |
| その他工事計画に関し参考と なるべき事項を記載した図 | | | |
| 工作物の除却に 関する工事計画 | 図 面 | 位置図 | 縮尺 5 万分の 1 の地形図とする。 |
| | | 工作物の構造図 | |
| | 工事の実施方法を記載した図 書 | | |
| | 工事費概算書 | | |
| その他工事計画に関し参考と なるべき事項を記載した図書 | | | |

- 三、 法第 38 条ただし書の同意をしたものがあるときはその同意書の写し並びに同意をしないものがあるときはその者の氏名及び住所（法人にあっては、その名称及び住所並びに代表者の氏名）並びに同意をするに至らない事情を記載した書面
- 四、 河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する土地、施設若しくは工作物を使用して水利使用を行う場合又は河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する工作物を改築し、若しくは除却して水利使用を行う場合にあっては、その使用又は改築若しくは除却について申請者が権原を有すること又は権原を取得する見込みが十分であることを示す書面
- 五、 水利使用に係る行為又は事業に関し、他の行政庁の許可、認可その他の処分を受けることを必要とするときは、その処分を受けていることを示す書面又は受ける見込みに関する書面
- 六、 第 39 条ただし書に該当するときは、同条ただし書の理由及び同条本文の規定により同時に行うべき他の許可の申請の経過又は予定を記載した書面
- 七、 その他参考となるべき事項を記載した図書

別記様式第 9

| 工 事 計 画 一 覧 表 | | | |
|------------------|-----|------------|----------|
| 申請者名 | | 申請年月日 | 年 月 日 |
| ダム名 | () | 目 的 | |
| 共同施設の他の設置者に関する事項 | 目 的 | 設 置 者 名 | |
| | | | |
| 水利場所使用の | 区 分 | 河 川 名 称 | 位 置 |
| | ダ ム | 種 類 | 左岸 右岸 |

| | | | | | | | | |
|------------------|------------------|-------|--------|-------|---------|---------------------|------------|----------------|
| | 取水口 | | | | | | | |
| | 注水口 | | | | | | | |
| | 放水口 | | | | | | | |
| 取水量等 | | | | | | | | |
| ダム 本体 | 型式 | | | | | | | |
| | 規模 | 堤頂の高さ | 越流頂の高さ | 堤頂の長さ | 堤頂幅 | 敷幅 | のりこう配 | 体積 |
| | | m | m | m | m | m | 上流側 下流側 | m ³ |
| | 基礎地盤 | | | | | | | |
| | 築造材料 | | | | | | | |
| | 位置及び形式の決定の理由 | | | | | | | |
| | 貯水効率 | | | | | | | |
| 貯水 池 | 水位 | 計画洪水位 | m | | 湛水区域の面積 | k m ² | | |
| | | 常時満水位 | | | 貯留量 | 総貯留量 m ³ | | |
| | 制限水位 | | | 有効貯留量 | | | | |
| | 最低の水位 (ダムの堤頂) | | | | | | | |
| | (ダムの基礎地盤) | | | | | | | |
| 利用方法の基準 | | | | | | | | |
| 背水距離 | 河川 | | | 洪水時 | 平水時 | | | |
| | 名称 | 種類 | | | | | | |
| | | | | km | km | | | |
| 計 | | | | | | | | |
| 土地の現況 | | | | | | | | |
| 地質 | | | | | | | | |
| 山くずれその他 荒廢の状況 | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|------|----------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------------|--|--------------------------|
| 集水地域 | 面積 | 直接集水面積 間接集水面積 計 | | | | k m ² |
| | 土地の現況 | | | | | |
| | 山くずれ その他 荒廃の状況 | | | | | |
| 降水量 | 関係河川名 | | | | | |
| | 観測所名 | | | | | |
| | 観測期間 | | | | | |
| | 日降水量 | 最大 | m | m | | m |
| | | 最小 | | | | |
| | | 平均 | | | | |
| | 月降水量 | 最大 | m | m | | m |
| | | 最小 | | | | |
| | | 平均 | | | | |
| | 年降水量 | 最大 | m | m | | m |
| 最小 | | | | | | |
| 平均 | | | | | | |
| 流量 | 河川名 | | | | | |
| | 測候所名 | | | | | |
| | 観測期間 | | | | | |
| | 最大洪水流量 (発生年月日) | | m ³ /s () | m ³ /s () | | m ³ /s () |
| | 平水流量 | 最大 | m ³ /s | m ³ /s | | m ³ /s |
| | | 最小 | | | | |
| | | 平均 | | | | |
| | 低水流量 | 最大 | m ³ /s | m ³ /s | | m ³ /s |
| | | 最小 | | | | |
| | | 平均 | | | | |
| | 渇水流量 | 最大 | m ³ /s | m ³ /s | | m ³ /s |
| | | 最小 | | | | |
| | | 平均 | | | | |

| | | | | |
|------------------|-----------|-------------------|--|------------|
| 附 属 設 備 | 洪水吐 | (計画洪水流量 m^3/s) | | |
| | その他の放流設備 | | | |
| | 貯水池直接取水設備 | | | |
| | 集水施設 | | | |
| | 観測施設 | | | |
| | 通報施設 | | | |
| | 警報施設 | | | |
| | その他の設備 | | | |
| 附帯施設 | | | | |
| 工事の実施の方法及び順序 | | | | |
| 工 | 期 | 着工予定 完成予定 | | 工事費 概算額 |
| 調査設計主任技術者 | 氏名 | | | |
| | 経歴 | | | |

備考

- 1 「ダム名」の欄のかっこ内には、貯水池の名称を記載すること。
- 2 「共同施設の他の設置者に関する事項」の欄は、当該ダムを他の者と共同して設置する場合に限り記載するものとし、同欄中「摘要」の欄の記載については、別記様式第二の水利台帳調書（乙）の備考5の例によること。
- 3 「水利使用の場所」及び「貯水池」の欄中「河川の種類」の欄には、別記様式第二の水利台帳調書（甲）の備考5(3)の例により河川の種類を記載すること。
- 4 「取水量等」の欄の記載については、別記様式第八の（乙の1）の備考2（(7)を除く。）の例によること。
- 5 「ダム本体」の欄の記載については、次のとおりとすること。
 - (1) 「基礎地盤」の欄には、ダムの基礎地盤の岩石の種類及び性質、断層及び割れ目

の状態、わき水及び漏水の状態等を記載すること。

(2) 「貯水効率」の欄には、有効貯留量をダムの堤頂及び基礎地盤の標高を記載すること。

6 「貯水池」の欄中「水位」の欄のかつこ内には、ダムの堤頂及び基礎地盤の標高を記載すること。

7 「附属設備」の欄の記載については、別記様式第二の水利台帳調書（乙）の備考8の例によること。

8 「附属設備」の欄には、付替道路の種類及び箇所数、付替橋の数、土捨場の数その他ダムに関する工事に附帯して設置する主要な施設又は工作物の種類、数等を記載すること。

9 「工事費概算額」の欄には、当該ダムその他の施設を他の者と共同して設置するときは、当該共同施設の工事費概算額のうち各設置者がそれぞれ負担すべき額及び申請者の占用施設の工事費概算額を記載すること。